

## 新型コロナと大雪の冬が明けて

(3月15日記)

昨年来の新型コロナウイルス感染症が終息を見せない中、当市としては、昭和43年の観測開始以来の最大の大雪となり、現時点で、三笠地区で累積降雪量が1307cm、これまでの最大積雪深が201cm、幾春別地区で累積降雪量が1640cm、これまでの最大積雪深が267cmでありました。

ご高齢の方の中には、これ以上の雪を体験した方もおられるかも知れませんが、多くの方は、驚きであり、苦痛であり、心配の毎日ではなかったでしょうか。

本当に、よく乗り切ってくださいました。

当市の特にご高齢のみなさんは、雪に慣れているとはいえ、これほどの冬を耐えていただいたことを心から嬉しく思っています。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が始まる段階に入りましたが、国の指導のもと、市としても出来る限りスムーズに接種いただけるよう準備を進め、市民を挙げて感染症への備えを行っていきたいと思っています。

国からのワクチンの配分により、徐々にしか接種が進まないと思いますが、接種する手順は、まず接種券を送付しますので、希望する接種方法や場所を選んで予約していただきます。

市では、市民センターでの集団接種、医療機関で受ける個別接種を考えていますが、施設などに入所されている方には、医師に巡回していただく巡回接種を行うことも可能な範囲で考えています。

接種券を受け取ってから、具体的な内容をご確認いただき、不明な点などがありましたら、ふれあい健康センターに確認や相談をしてください。

決して強制ではありません。

ただ、重症化すると死に至る病気です。

市としては、「自分はみんなのために、みんなは自分のために」の精神に則り、将来に向かって市民みんなが安心して暮らせる三笠を創るため、接種いただくことをお願いしています。

春の温かい日差しが注ぎ始めました。

一日も早く、もとの生活を取り戻すため、市民一丸となって、コロナ克服に取り組みましょう！

(広報みかさ令和3年4月号に掲載したものです。)